

社会资本総合整備計画

たきのみやちくとしたさいせいびけいかく
滝宮地区都市再生整備計画

平成25年 7月

かがわけんあやがわちょう
香川県 綾川町

都市再生整備計画[第1回変更]

たきのみや
滝宮地区

かがわけん あやがわちょう
香川県 綾川町

平成25年 7月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	香川県	市町村名	綾川町	地区名	滝宮地区	面積	73 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 26 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 26 年度				

目標

大目標 新駅を拠点施設とした、利便性・快適性に優れた居住空間を創出することにより、定住化の促進を図るとともに、駅に集う人々によって活力と賑わいのあるまちづくりを目指す

目標1 鉄道乗換利便性や運行頻度の向上、コミュニティバスなどとの接続により、町内外の交通結節点としての機能強化を図る

目標2 新駅周辺の道路を始めとしたインフラ整備を行うことで、新たな居住空間の創出を図る

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

綾川町は、香川県のほぼ中央に位置し、平成18年3月21日に綾上町と綾南町の合併によって誕生した。町の南部には山林が広がり、北部は小山に囲まれた起伏の多い丘陵地で形成されている。

滝宮地区は、町の北西に位置しており、東西に高松市と高知県高知市を結ぶ国道32号線が横断しており、それと並行するように高松・琴平間ににおいて高松琴平電気鉄道株式会社による琴平線が運行されている。また、高松空港や平成21年4月から本格運用されている府中湖スマートインターチェンジにも近いなど、地理的な条件に恵まれた地域であり、近年、大型商業施設の進出などもあり、民間事業者による宅地開発も増加傾向にある。

このような地理的優位性を活かすと共に、県全域の公共交通の活性化とまちづくりとの連携を目指して、交通事業者、行政(県、沿線自治体)等による「ことでん活性化協議会」に参画し、平成23年3月には「ことでん沿線地域公共交通総合連携計画」が策定された。これを受けて、高松琴平電気鉄道株式会社琴平線の陶駅・滝宮駅間に新駅を設置し、運行頻度を上げていこうとする動きが具体化されつつあり、新駅を中心とした新たなまちづくりを実践していくものである。

課題

- ①新駅を中心とするまちづくりのため、計画的な土地利用の実施が必要。
- ②新駅の整備により、人の流れが変化することが予想され、交通渋滞や環境の悪化が懸念される。
- ③現在町内にある駅は、旧国道沿いに位置しており、用地が限られているため、駐車場やキスアンドライドのためのロータリーなどの整備が困難であり、新駅には、こうした施設を確保していくことが必要。
- ④本町南部地域については、公共交通機関がコミュニティバスしかなく、駅への結節機能が低い。
- ⑤町外へのアクセスとしては、東西には鉄道があるが、南北の公共交通機関がなく、バスの乗り入れなどを検討し、県域全体における交通結節機能の強化が必要。

将来ビジョン(中長期)

平成19年3月に策定した「綾川町第1次総合振興計画」において、土地利用方針として以下の4点を掲げている。

- ①豊かな自然や歴史・景観環境などの保全
- ②良好な環境のもとでの快適な生活空間の確保
- ③快適で機能性に優れた中心拠点の確保
- ④農業、工業、商業などそれぞれの特性に応じた産業基盤の確立
- ⑤拠点を結び、町内や広域的なネットワークを形成する道路・交通体系の確立

平成23年3月には、「ことでん活性化協議会」において「ことでん沿線地域公共交通総合連携計画」を策定し、以下の3点を掲げている。

- ①重点駅の整備
- ②乗り継ぎの改善
- ③運行頻度の向上

また、平成23年度に策定した「綾川町第2次5ヵ年計画」において、主要事業として本地区の整備計画を位置づけている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
					基 準 年 度	目 標 年 度
乗降客数	人/日	新駅設置による乗降客数	交通結節機能及び運行頻度の向上により、利用者増加を見込む	-	平成23年度	1282人/日 平成26年度
コミュニティバス利用者数	人/便	新駅への乗り入れに伴う乗降客数	新駅との連結及び運行形態の見直しにより、利用者増加を見込む	1.8人/便	平成22年度	3.0人/便 平成26年度
人口増加率	%	地域内の人口増加率	利便性・快適性に優れた居住空間の創出により、定住人口の増加を見込む	-	平成23年度	1.50% 平成26年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1(町内及び県南西部の交通結節点として、ことでん陶駅、滝宮駅間に新駅を設置し、新駅を中心とした交通環境の整備によって、利便性の高い居住空間の創出を図る。) ・新駅周辺における公共交通の結節機能強化を図る。 ・新駅周辺に新たな居住空間の創出を図る。	【基幹事業】 ・道路(町道新設)(駅前広場)・地域生活基盤施設(自転車駐車場) ・高質空間形成施設(緑化施設等、歩行者支援施設・障害者誘導施設等) 【提案事業】 ・コミュニティバス等実験運行
・	
・	
その他	

都市再生整備計画の区域

滝宮地区(香川県綾川町)

面積

73 ha

区域 綾川町(滝宮、萱原の一部)

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。

